

6/25
2009年第1013号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬 志 岐
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-net.org/
● 定価・年間10,000円 月1,000円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

国会では患者の声をこそが力に

「保険で良い歯科医療」署名にご協力を

協会は来年度の予算編成にむけて、①患者負担の軽減②保険でよい歯科医療の実現——などを求める患者署名に取り組み、患者からの声を携えて、それを力に今後、国会要請などを積極的に進め、要求の実現をめざす。政策部長の小澤力副理事長が、署名への協力を呼びかける。



06年歯科診療報酬改定では、患者への文書による情報提供や膨大なカルテ記載などの診療妨害とも言える医院への締め付け、3・16%の大幅なマインス改定によって年間の歯科医療費が700億円もマインスとなる改定が押し付けられた。

協会・保団連は、こ

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配のいらぬ「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名(衆参議長宛)

〔請願事項〕

- ①安心して歯科治療が受けられるよう、現在3割の窓口負担の軽減を
- ②小児は永久歯が生えそろう義務教育修了まで、歯科の窓口負担を無料に
- ③高齢者が安心して歯科治療を受けられるよう、歯科の窓口負担を無料に
- ④保険で良く噛める「入れ歯」ができるように
- ⑤保険で歯周病の治療・管理が十分にできるように
- ⑥金属床の入れ歯や白い歯の被せ物など、日常の治療で普及している保険外の治療は保険でできるように

社保研究部は13日、個別指導対策講習会を開いた。開催を知った会員からの問い合わせが殺到したため、協会は大きな会場に変更して対応し、128人が参加した。講師は社保研究部の土田仁氏、安積中氏が務めた。

昨年10月に指導監査部門が社会保険庁から近畿厚生局へ移ったことに伴い、個別指導が強化されている。これまでは「自分分は真面目にやっているから関係ない」と考えていた開業医にも、影響が出てくる状況のなかで、会員の関心が高まっている。

講習会で土田氏は、指導・監査が厳しくなっている事例として、従前は



指導の改善に政治変革が不可欠と話す安積氏=13日、M&Dホール

個別指導対策講習会

強まる指導への対抗策

実態に即したカルテ記載を喚起

求められていなかった「改善報告書」が求められるようになったこと、さらには新規個別指導で

耐えるカルテ記載について説明した。注意点として、レセコンに頼り過ぎず、歯管などの医学管理料や検査を実施した場合には、個々の症例に応じた記載内容に努めるべきであると述べた。また、実地指の算定にあたっては、実態に即して実施時間を記載することや、傷病名と部位の記載漏れがよくあるので、気をつけてほしいと注意をうながした。

同氏はまた、指導・監査が強化されている背景として、政府が「医療費適正化」の名のもとに推進している医療費抑制策があること指摘し、国の政策の根本からの転換の必要性を訴えた。「大事なことは、萎縮診療しないこと、萎縮診療で最も困るのは患者さんである。マスコミが医療機関の『不正請求』を煽っているが、診療報酬を算定する理解不足による『誤り』が大半であり、それを『不正請求』と混同している間違っただけが多い。審査内容に納得できない場合は、必ず再審査請求し、不当な指導・監査に対しては泣き寝入りするのではなく、闘う姿勢が大切である」と強調した。

70代の男性は、「生活保護を受けているので、私自身は医療費負担はないが署名の趣旨には賛同する。社会保障の充実には非常に大事なこと」と話した。保険会社社員男性は、「診療報酬が20年ぐらいい上がっていないので、『不正請求』と指摘。『患者も減って歯科医院の経営が厳しいと聞いている』と語り、署名に協力した。旅行中の女性は「窓口負担は本当に高いと思う。ぜひ引き下げを実現してください」と要望した。

近年爆発的に加速増量した物流とIT(情報)は突如劣化したB/Sを不況風邪として瞬時に世界中に蔓延させた。グローバルな時代にIMFとWHOがよく似た重要な課題と使命を抱えており、大國が重要ポストや主権を争って、お人好し日本からの拠出金をばかちりあてにしている。昔からグローバルに世界を飛び回ってウイルスを拡散させている渡り鳥に笑われる。

レセオンライン義務化撤回訴訟日程

レセプトオンライン義務化撤回訴訟の今後のスケジュールは、以下のとおりです。

【2次提訴】
[日時] 7月3日(金)午後3時30分～
[場所] 大阪地方裁判所

【第1回口頭弁論】
[日時] 7月10日(金)午後1時30分～2時
[場所] 大阪地方裁判所
※高本原告団長と河村弁護団長の口頭弁論の後、2時から報告集会を開きます。

●3日の2次提訴行動、10日の傍聴および報告集会に、ぜひご参加ください。

街宣で医療再生のパンフ380枚

「窓口負担は本当に高い」との声



「保険で良い歯科医療を」の訴えを熱心に聞く署名協力者=13日、なんばビックカメラ前

協会が13日、理事会前になんばビックカメラ前で街頭宣伝を行った。伊津進弘理事長、下井戸昭介・辻本勝・山上祐志各

「保険で良い歯科医療」の訴えを求め、「請願署名への協力を求めた。1時間の行動で、保団連パンフ「いま、日本の医療を救うために」を380枚配布、40筆の署名が寄せられた。

副理事長、事務局が、「いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配のいらぬ「保険で良い歯科医療」の実現を求める」請願署名への協力を求めた。1時間の行動で、保団連パンフ「いま、日本の医療を救うために」を380枚配布、40筆の署名が寄せられた。

2009年消夏号 投稿・写真を募集します

旅行記や夏の風景写真など得意なジャンルでお気軽に

消夏号(8月15日号)への会員投稿・写真を募集しています。得意なジャンルでお気軽にお寄せください。掲載者には薄謝進呈します。詳細については、新聞部までお問い合わせください。

【投稿先】
協会事務局まで郵便やファクス(06-6568-0564)、電子メール(s.yamamoto@doc-net.or.jp)でお送りください。
※締め切りは7月18日必着。

経済の国際化と言っても昔は貧弱な物、人情報の移動範囲に限られた経済圏だった。人と物の流れの規模が小さかった頃は、特定地域限定の風土病であったエイズもその後人類の活動増加で世界規模に大化けたようだ。

スペイン風邪の時は世界大戦で大量の人物資が動き、ウイルスも世界に蔓延した。

サブプライムローンにはほぼ無関係の日本の金融機関は、株価下落だけでなく国際的に多様な複雑な債権を保有しているB/S(貸借対照表)の急激な劣化を招いた。